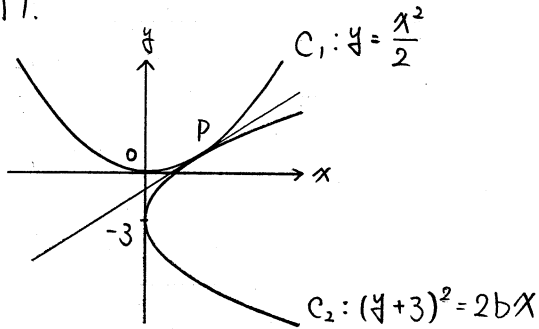


1

問1.



$C_1$ は $y \geq 0$ の範囲にあるので、 $C_1, C_2$ の  
 共有点は、 $x > 0, y > 0$ の範囲にある。  
 よって、 $P$ は $C_2$ の $y+3 = \sqrt{2bx}$  ( $x > 0$ )  
 上にあり、

$$\begin{cases} y = \frac{x^2}{2} \text{ に対して, } \frac{dy}{dx} = x, \\ y = \sqrt{2bx} - 3 \text{ (} x > 0 \text{) に対して, } \frac{dy}{dx} = \sqrt{\frac{b}{2x}} \end{cases}$$

より、 $P$ の $x$ 座標を $t$  ( $> 0$ )とおくと

$$\begin{cases} \frac{t^2}{2} = \sqrt{2bt} - 3 & \dots \text{ ①} \\ t = \sqrt{\frac{b}{2t}} & \dots \text{ ②} \end{cases}$$

②より、 $b = 2t^3$ であり、

これと①より

$$\frac{t^2}{2} = 2t^2 - 3$$

$$t^2 = 2.$$

$t > 0$ より、 $t = \sqrt{2}$ であり、 $P(\sqrt{2}, 1)$ 。

よって、求める接線の方程式と $b$ の値は

$$y = \sqrt{2}x - 1 \quad \dots \text{ (答)}$$

$$b = 4\sqrt{2} \quad \dots \text{ (答)}$$

問2.

$C_2$ の傾き正の接線は $C_2$ の

$$y+1 = \sqrt{2bx} \quad (x > 0) \quad \dots \text{ ③}$$

の部分で $C_2$ と接する。

$C_1$ の点 $(S, \frac{S^2}{2})$ における接線の方程式は、

$$y = Sx - \frac{S^2}{2}. \quad \dots \text{ ④}$$

(傾き正より)、 $S > 0$ )

③の点 $(t, \sqrt{2bt} - 1)$ における接線の方程式は、

$$y = \sqrt{\frac{b}{2t}}x + \sqrt{\frac{bt}{2}} - 1. \quad \dots \text{ ⑤}$$

④、⑤が一致するとき、

$$\begin{cases} S = \sqrt{\frac{b}{2t}}, & \dots \text{ ⑥} \\ -\frac{S^2}{2} = \sqrt{\frac{bt}{2}} - 1. & \dots \text{ ⑦} \end{cases}$$

⑥より、 $t = \frac{b}{2S^2}$ であり、

これと⑦より、

$$-\frac{S^2}{2} = \frac{b}{2S} - 1$$

$$b = -S^3 + 2S. \quad \dots \text{ ⑧}$$

以上より、⑧を満たす $S (> 0)$ が

少なくとも一つ存在するよう各 $b (> 0)$

の値の範囲を求めればよい。

1

つきり,  $Su$  平面内において,  
 直線:  $u=b$  と,  $u=-S^3+2S$  の  
 グラフが " $S>0$  の範囲に少なくとも  
 1つの共有点をもつような  $b(>0)$   
 の値の範囲を求めればよい.

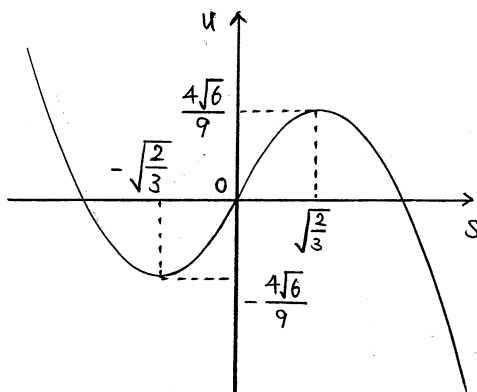
$u=-S^3+2S$  に対して,

$$\frac{du}{dS} = -3S^2 + 2$$

よ,  $u$  の増減は次の表のよう  
 なる.

$S$	...	$-\sqrt{\frac{2}{3}}$	...	$\sqrt{\frac{2}{3}}$	...
$\frac{du}{dS}$	-	0	+	0	-
$u$		↘		↗	

よ,  $u=-S^3+2S$  のグラフは,  
 次のようになる.



これと,  $b>0$  よ, 求める値の範囲は

$$0 < b \leq \frac{4\sqrt{6}}{9} \quad \dots (\text{答})$$

2

$$f(x) = \int_0^x \frac{1}{\sqrt{1+t^3}} dt. \quad (x > 0)$$

問1.  $0 \leq t \leq x$  ( $x > 0$ ) において,

$$\frac{1}{\sqrt{1+t^3}} > 0$$

であるから  $f(x) > 0$  であり, また

$$f'(x) = \frac{1}{\sqrt{1+x^3}} > 0$$

であるから,  $x > 0$  において  $f(x)$  は単調に増加する.

以上より,  $0 < x_1 < x_2$  ならば,  
 $0 < f(x_1) < f(x_2)$ . (証明終り)

問2.

$y = g(x)$  ( $g(x) > 0$ ) に対して,

$$x = \int_0^y \frac{1}{\sqrt{1+t^3}} dt \quad \dots \textcircled{1}$$

である.

①の両辺を  $y$  で微分すると,

$$\frac{dx}{dy} = \frac{1}{\sqrt{1+y^3}}$$

$$\frac{dy}{dx} = \sqrt{1+y^3}$$

であるから,

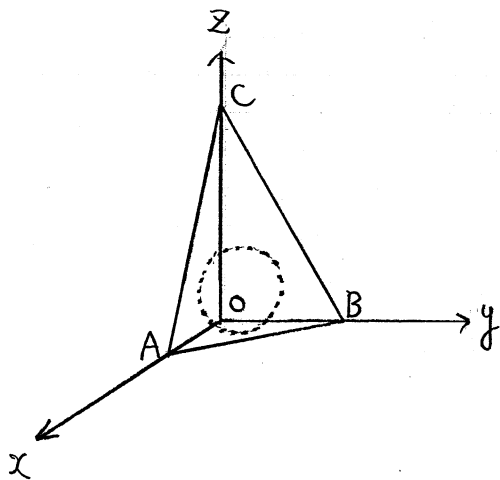
$$g'(x) = \sqrt{1+g(x)^3}. \quad \dots \text{(答)}$$

問3.

問2の結果より,

$$\begin{aligned} g''(x) &= \frac{3\{g(x)\}^2 \cdot g'(x)}{2\sqrt{1+\{g(x)\}^3}} \\ &= \frac{3\{g(x)\}^2 \sqrt{1+\{g(x)\}^3}}{2\sqrt{1+\{g(x)\}^3}} \\ &= \frac{3}{2}\{g(x)\}^2. \quad \dots \text{(答)} \end{aligned}$$

3



問1

Sの半径をrとする.

Pは  $x > 0$  かつ  $y > 0$  かつ  $z > 0$  の範囲にあり,  $xy$ 平面,  $yz$ 平面,  $xz$ 平面との距離がすべてrであるから, Pの座標は  $(r, r, r)$  である.

さらに, 4つの四面体

$POAB, POBC, POCA, PABC$

の体積の和は四面体OABCの体積であるから,

$$\frac{1}{3}(\Delta OAB + \Delta OBC + \Delta OCA + \Delta ABC)r = \frac{1}{3}\Delta OAB \cdot OC \dots \textcircled{1}$$

$$\Delta OAB = \frac{1}{2}(\sqrt{3}-1) \cdot 2 = \sqrt{3}-1,$$

$$\Delta OBC = \frac{1}{2} \cdot 2(\sqrt{3}+1) = \sqrt{3}+1,$$

$$\Delta OCA = \frac{1}{2}(\sqrt{3}+1)(\sqrt{3}-1) = 1$$

であり,

$$\vec{BA} = (\sqrt{3}-1, -2, 0), \vec{BC} = (0, -2, \sqrt{3}+1) \text{ あり}$$

$$\begin{aligned} \Delta ABC &= \frac{1}{2} \sqrt{|\vec{BA}|^2 |\vec{BC}|^2 - (\vec{BA} \cdot \vec{BC})^2} \\ &= \frac{1}{2} \sqrt{(8-2\sqrt{3})(8+2\sqrt{3}) - 4^2} \\ &= 3. \end{aligned}$$

であるから, ①より

$$\frac{1}{3}(2\sqrt{3}+4)r = \frac{2}{3}.$$

よって  $r = 2 - \sqrt{3}$  であり, Pの座標は

$$(2-\sqrt{3}, 2-\sqrt{3}, 2-\sqrt{3}). \dots \textcircled{\text{答}}$$

問2

$PQ \perp (\text{平面} ABC)$  あり.

$$\vec{PQ} \cdot \vec{BA} = \vec{PQ} \cdot \vec{BC} = 0$$

であり, ②より  $k \in \text{実数}$  として

$$\vec{PQ} = k(\sqrt{3}+1, 1, \sqrt{3}-1). \dots \textcircled{2}$$

Qは平面ABC上にあるので,  $s, t \in \text{実数}$  として

$$\vec{OQ} = (1-s-t)\vec{OB} + s\vec{OA} + t\vec{OC}. \dots \textcircled{3}$$

$$\textcircled{2} \text{ あり } \vec{OQ} = \vec{OP} + k(\sqrt{3}+1, 1, \sqrt{3}-1)$$

であり, ③と成分を比較すると

$$\begin{cases} s(\sqrt{3}-1) = 2-\sqrt{3} + k(\sqrt{3}+1), \\ (1-s-t) \cdot 2 = 2-\sqrt{3} + k, \\ t(\sqrt{3}+1) = 2-\sqrt{3} + k(\sqrt{3}-1). \end{cases}$$

②より

$$k = \frac{2-\sqrt{3}}{3}, s = \frac{3\sqrt{3}-1}{6}, t = \frac{\sqrt{3}-1}{6}.$$

よって, Qの座標は

$$\left( \frac{5-2\sqrt{3}}{3}, \frac{8-4\sqrt{3}}{3}, \frac{1}{3} \right). \dots \textcircled{\text{答}}$$

4

$$z = \cos \frac{2\pi}{R} + i \sin \frac{2\pi}{R}.$$

問1 ド・モアヴールの定理より,

$$z^m = \cos \frac{2m}{R} \pi + i \sin \frac{2m}{R} \pi,$$

$$z^n = \cos \frac{2n}{R} \pi + i \sin \frac{2n}{R} \pi$$

であるから,

$$z^m = z^n$$

$$\Leftrightarrow \frac{2m}{R} \pi = \frac{2n}{R} \pi + 2p\pi \quad (p: \text{整数})$$

と表せる。

$$\Leftrightarrow m - n = pR \quad (p: \text{整数})$$

と表せる。

$$\Leftrightarrow m - n \text{ は } R \text{ の倍数}.$$

(証明終り)

問2  $z^{al} = z^{bl}$ , ... ①

$1 \leq l < a \leq R$  ... ②

を満たす整数  $a, l$  が存在すると仮定する。

問1の結果を用いると、①より、 $l$  を整数として、

$$a^l - b^l = (a - b)l = qR$$

と表せる。

$l$  と  $R$  は互いに素であるから、 $a - b$  は  $R$  の倍数である。

$z = z^{al}$  ②より、

$$1 \leq a - b \leq R - 1$$

であるから、 $a - b$  が  $R$  の倍数であることはなく矛盾。

よって、 $z^l, z^{2l}, z^{3l}, \dots, z^{(R-l)l}$  はすべて異なる。(証明終り)

問3  $R$  と  $l$  は互いに素であると仮定すると、2以上の整数  $g$  と整数  $l'$

$l' \in \mathbb{N}$  として、

$$R = gl'$$

$$l = gl'$$

と表せる。このとき、 $g \geq 2$  より、

$$1 \leq l' \leq R - 1.$$

したがって、

$$c - d = R'$$

$$1 \leq d < c \leq R$$

を満たす整数  $c, d$  が存在する。

このとき、

$$cl - dl = (c - d)l$$

$$= R'l$$

$$= R'gl'$$

$$= Rl'$$

より、 $cl - dl$  が  $R$  の倍数となり、

問1の結果より、

$$z^{cl} = z^{dl}$$

これは、 $z^l, z^{2l}, z^{3l}, \dots, z^{(R-l)l}$  がすべて異なることに反する。

以上より、 $R$  と  $l$  は互いに素である。

(証明終り)

5

$a, b, c, x, y, z$  は実数.

問1

$a^2 - b^2 > 0$  のとき,  $a^2 > b^2 \geq 0$  より  $a \neq 0$ .

$f(t) = (at+x)^2 - (bt+y)^2$  とおく.

$$f(t) = (a^2 - b^2)t^2 + 2(ax - by)t + (x^2 - y^2)$$

より, 2次関数  $s = f(t)$  のグラフは, 下に凸の放物線であり,

$$f\left(-\frac{x}{a}\right) = -\left(-\frac{bx}{a} + y\right)^2 \leq 0$$

より,  $t$  軸と共有点をもつ. したがって, 2次方程式  $f(t) = 0$  は実数解をもつ.

(証明終り)

問2

問1より,  $f(t) = 0$  が実数解をもつから,

$$\frac{(\text{判別式})}{4} \geq 0.$$

$$(ax - by)^2 - (a^2 - b^2)(x^2 - y^2) \geq 0.$$

よって,

$$(ax - by)^2 \geq (a^2 - b^2)(x^2 - y^2).$$

(証明終り)

問3

$a^2 - b^2 - c^2 > 0$  のとき,  $a^2 > b^2 + c^2 \geq 0$  より  $a \neq 0$

$g(t) = (at+x)^2 - (bt+y)^2 - (ct+z)^2$  とおく.

$$g(t) = (a^2 - b^2 - c^2)t^2 + 2(ax - by - cz)t + (x^2 - y^2 - z^2)$$

より, 2次関数  $s = g(t)$  のグラフは, 下に凸の放物線であり,

$$g\left(-\frac{x}{a}\right) = -\left(-\frac{bx}{a} + y\right)^2 - \left(-\frac{cx}{a} + z\right)^2 \leq 0$$

より,  $t$  軸と共有点をもつ.

したがって, 2次方程式  $g(t) = 0$  は実数解をもつから

$$\frac{(\text{判別式})}{4} \geq 0.$$

$$(ax - by - cz)^2 - (a^2 - b^2 - c^2)(x^2 - y^2 - z^2) \geq 0.$$

よって,

$$(ax - by - cz)^2 \geq (a^2 - b^2 - c^2)(x^2 - y^2 - z^2).$$

(証明終り)